



磐梯町『ネイチャーポジティブ宣言』

本町は、会津磐梯山を中心とした豊かな自然と、日本名水100選に選ばれた磐梯西山麓湧水群を有する山紫水明の町です。また、町の天然記念物であるカワシンジュガイ等の多様な生物が生息する町でもあります。

磐梯町では総合計画等で、ミッション（使命）「町民すべての幸せ～誰もが自分らしく生きられる共生社会の共創～」、ヴィジョン（将来像）「自分たちの子や孫たちが暮らし続けたい魅力あるまちづくり～共創・協働のまちづくり～」を掲げ、具体的な取組として「地域、社会等における町民、自然との共生について、町民と共に考え、そのあり方を共創」することを明記し、2023年9月にはゼロカーボン宣言を行いました。

これらの考えや取組は、昆明・モンリオール生物多様性枠組2050年ヴィジョン「自然と共生する世界」の達成に向けた短期目標である「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の考え方と同じです。

そこで、磐梯町は以下の取組を進めることで、ネイチャーポジティブの実現に向けた社会・経済の変革を目指すことをここに宣言します。

1. 私たち町民の社会・地域・経済が自然資本に依存していることを自覚し、豊かな生態系の健全性を維持・回復させる社会経済活動の拡大に取り組む。
2. 自然を活用し、脱炭素や循環経済、防災、地域振興等の社会・地域課題の一体的かつ総合的な解決を目指す。
3. 生物多様性による恩恵を循環させ、それによる人間の幸福をもたらすネイチャーポジティブな社会・地域・経済を実現する。
4. 磐梯町及び磐梯山麓において育まれてきた、地域固有の自然観・文化・産業を尊重する自然資本の持続可能な利用・保全を推進するため、生活・消費活動における生物多様性の価値の認識と行動を促す。
5. 上記の取組にあたり、生物多様性に係る取組を支える基盤整備と知見の共有、人材の育成、対話をはじめとするマルチステークホルダーとの連携を推進する。

なお、これらの取組を確実に進めるため、磐梯町によるネイチャーポジティブの実現に向けた社会経済の変革のための行動計画等を策定する。

令和6年（2024年）10月29日

磐梯町長